

Osaka Judo Therapist Association

社団法人
大阪府柔道整復師会

Vol.166 2010.2

OJTA Times

OSAKA JUDO THERAPIST ASSOCIATION

〒550-0004 大阪市西区靱本町3丁目10番3号・TEL (06) 6444-4151・http://www.osaka-jyusei.or.jp/・E-mail:ojta@osaka-jyusei.or.jp

平成22年 新年交歓会開催

勇猛果敢に邁進する年に



1月10日(日)午後5時より、スイスホテル南海大阪8階「浪華の間」において、恒例の社団法人大阪府柔道整復師会による新年交歓会が開催された。

新春にふさわしい穏やかな陽気に包まれた当日、御来賓180名のご臨席を賜り、総勢530名の方がたが参集し、盛大にそして華やかに執り行われた。

安田剛副会長の開会の辞で始まり、阪本武司会長より「社団法人大阪府柔道整復師会は社団法人として認定を受け、今年が50周年という大きな節目の年を迎えます。また昨年は大阪社団会員の皆様方のご理解、ご承認のもと、理事会構成メンバーの懸命の汗と努力により、全く新しく定款が改定され、此の度は公益社団法人として生まれ変わろうとする、輝かしい年でもあります。また今年も寅年という事で、勇猛果敢に前進していきたいと存じます。」と本年の決意として主催者挨拶が行われた。

続いて御来賓を代表して、橋下徹大阪府知事ご名代 総山哲男副知事、平松邦夫大阪市長ご名代 壺阪敏幸大阪市長、市健康福祉局理事、参議院議員自由民主党大阪府支部 谷川秀善連合会会長、大阪府医師会 酒井國男会長ご名代 難波俊司副会長、社団法人日本柔道整復師会 萩原正会長の皆様方より新年のご祝辞を賜った。

その後、寺本欽弥副会長より国会議員の先生方、続いて大阪府柔道整復師振興議員連盟の方がた、並びに自民大阪府会柔道整復師振興議員連盟の方がたをご紹介のあと、ご登壇頂き、代表者の方にそれぞれご祝辞を賜った。

社団法人国民健康保険中央会 田中一哉理事の乾杯のご発声により、親睦を深める、晴れやかな祝宴へと移った。引き続き前衆議院議員の先生方にご登壇を願い、スピーチして頂いた。各先生方とも、再起に賭ける意気込みがひしひしと感じられた。

宴も酣の中、阪本武司会長、安田剛副会長、寺本欽弥副会長並びに徳久輝明副会長の4名がご登壇の上、徳久輝明副会長より阪本武司会長の人柄に纏わるエピソードを披露され、会場内が和やかな雰囲気になりました。最後に寺本欽弥副会長により閉会の辞を告げられ、滞りなくお開きとなりました。

(広報 田川豊彦)

新年交歓会 ぞ歓談の皆さん



安田 剛 副会長



寺本 欽 副会長



徳久 輝明 副会長



阪本会長 主催者あいさつ 誠実に、そして勤勉に



新年明けましておめでとうございます。皆様方にはお健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

本日は社団法人大阪府柔道整復師会の新年交歓会に多数ご臨席を賜りまして、誠に有難うございます。また御来賓の皆様方には、昨年は大変お世話になりました。本年も相変わりませざるようしくお願い申し上げます。昨年の丑年は経済不況、デフレ、雇用不安、そしてな

んと言いましても政権交代といった、振り返りたくないような一年でございました。今年は寅年であり、年の重い気分は払拭し、心を新たに勇猛果敢に前進して行きたいと思っております。

さて社団法人大阪府柔道整復師会は、昭和35年に社団法人として認定され、ちょうど今年が50周年という大きな輝かしい節目の年を迎えます。先輩の皆様方の汗とご苦労に感謝しながら、本年の11月には社団法人大阪府柔道整復師会法人設立50周年記念式典・祝賀会を開催する予定になっております。その節には宜しくお願い申し上げます。昨年の大阪府柔道整復師会を振り返ってみますと、かねてより肅々と進めて参りました公益社団法人への移行認定申請の件で、11月

に開催されました臨時総会に於きましては、会員の皆様方のご理解のもと、圧倒的賛同を得て承認されることができました。誠に深く感謝申し上げます次第であります。また、それに伴いまして昨年の4月



より、理事會構成メンバーで英知を振り絞り、取り組んで作り上げた50年ぶりの新しい定款。これも会員のご理解のもと、ご承認されたという事は何より嬉しいことでもあります。今、社団法人大阪府柔道整復師会が新しく生まれ変わろうとしている、そういった期待に身の引き締まる思いです。また昨年の『第3回社団法人日本柔道整復師会大阪学会』、そして7年ぶりに大阪で開催されまし

た『第18回日本柔道整復接骨医学会学術大会』においては会員の先生方のご協力のもと、成功裏に終わることができました。誠に感謝申し上げます。特に接骨医学会では3900名を超す参加人数という

事、今までの規模をはるかに上回る新記録を作ることができました。これも大阪の会員の学術研鑽、生涯学習という気持が段々浸透して来たものであると嬉しく感じております。今、我々を取り巻く環境は、まだまだ厳しいものもありますが、日頃ご指導頂き、また地域医療推進協議会等でお世話頂いております。医師会の診療報酬がわずかではありますが、9年ぶり

にアップしたという嬉しいニュースもございます。我々社団法人大阪府柔道整復師会も社団法人日本柔道整復師会の萩原正会長を中心に、医師診療報酬改正に続けと頑張つて参る所存ですので、よろしくお願ひしたいと存じます。

いずれに致しましても会員の先生方には、今年は誠に、そして勤勉に患者さんの施術にあたって頂きたいと思っております。先生方には世の中の役に立つ公益社団法人の会員として、また全国一の会員数を有する大阪の会員として、自覚と誇りを持って日々の施術に励んで頂くことを願ひします。

本年が会員の先生方にとりまして、また御来賓の皆様方にとりまして、そして社団法人大阪府柔道整復師会にとりまして良き年、飛躍できる年になります事を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

スイスホテル南海大阪8階「浪華の間」



整論

総務部理事 永野秀信

【幼稚化】

昨今『幼稚な大人』が増えているという報道がある。大人になる儀式である成人式で荒れるというより、暴れる新成人達にみられるような、公私の使い分けができない人間。後に逮捕され「式で目立ちたかった、今は反省している」と言うが何故だろう。この様な事をすれば後々どうなるかを、先に考えて行動できなかつたのか不思議である。

新成人どころか、国家の最高議決機関である国会においての議員発言ですら、自分の言葉に責任を持たれていないのでは？と思えることがある。「私の知らない事」、「秘書が勝手にした事」、証拠の隠蔽、論点の挿げ替え等々。
このような報道で取り上げられる事例だけではなく、

自分の周りを見渡してみても若者だけに留まらず、中高年の言動にも『これでも大人？』と感じる事が多く、『幼稚な大人』の増加が著明になってきている。

【モラルを考える】

『大人とは』の定義を自分なりに付けるのであれば「法治国家である以上、法律で定められた規則や義務を守り、社会的なモラル・マナーを持つていることは当然のこと。自分の言動に責任を負うということ」だと考える。

齢だけ重ね自己責任を負えない、年齢だけが大人の人が多くなったのではないかと思えてしまう。

【柔整師業界では】

我々の柔道整復師業界はどうだろうか？
開設者が柔道整復師の資格を有しない、営利目的だけのような接・整骨院。そこに資格は有するが、いわゆる『雇われ院長』が『管理柔道整復師』として登録さ

れる。しかしながら、実際の経営は開設者が行い、院長は学生時代に勉強したにも関わらず、開設者に指示されるがまま『違法広告』や、店舗前路上での患者さん（否、もはや患者さんでは無く『お客様』というべきか？）の呼び込みを行う・・・私も偶然通りかかりで目の当たりにしたのだが、施術所の前で白衣を着た若い男性2人が大声で「マッサージいかがですか？保険ききますよ」と呼び込みを行っていた。このような行為が、街中で堂々と行われるようでは世も末である。患者さんを獲得する目的のためには手段を選ばない行動。もはや何が正しくて、何が悪いのかも分かっていない。『知らぬが仏』ではなく、『知らぬは罪悪』である。

師資格を有しない鍼灸師養成学校に通う柔道整復師が、鍼治療を施した結果の事故であった。本人の「してはいいけない」と思っていたというコメントを報道でみたが、強い憤りを感じた。被害に遭われ亡くなられた女性は、その施術所を訪れ、無資格とは知らずに刺鍼された挙句の事故。なんとも痛ましく、女性のご冥福を心よりお祈り申し上げたい。

う最高責任者である。その職責の重さを承知しているのだろうかと考えさせられてしまう。
我々、柔道整復師業界を取り巻く環境が非常に厳しい現在、相当な自浄努力が必要である。「自分さえよければ」という幼稚な考えを改めていくべきだと感じている。

【責任と覚悟】

また最近の新聞報道では、鍼灸整骨院で女性患者さんが、鍼治療後に院内で死亡した事故が報道されていた。当初は、鍼灸師による医療過誤の事故かな？と捉えていた。しかし、実際は鍼灸

これなども『バレなければ良い』というあまりにも自己中心的で、幼稚な考えから起った事故だろうと考えてしまう。勿論従業員であれば、院長から指示されれば断り難いという事情があるにせよである。「自分は雇われているだけで何も知りません」、「従業員がした事ですから、私には責任はありません」と等と考えているのだろうか。何も知らないから責任が無い。自分以外の人間がした事だから責任が無い。管理柔道整復師であるということは、院内での出来事全ての責任を負

その為には、日頃より我々柔道整復師をご指導頂いている日本柔道接骨医学会名誉会長 信原克哉先生の『慈悲の心をこめて』また、同学会会長 守屋秀繁先生の『品格ある柔道整復師』という言葉をお忘れず胸に秘め、日々『誠実・勤勉』に治療に専念していかなければと考える。そして地域住民から、愛され・信頼され・尊敬され・必要とされる柔道整復師となるよう努力すべきである。
公益社団法人へ移行する本年。その使命と職責を全うしたいと、年頭に強く思った。

ブロック公益事業

北河内ブロック
ブロック学術研修会

平成21年12月19日(土)
午後4時から門真市『仙亭』
会議室において、北河内ブ
ロック会主催で協力指導病
院の大谷整形外科クリニック
大谷茂院長を講師に招聘
し、演題「大谷整形外科ク
リニックにおける診察法腰
部・下肢」という演題でご
講演頂いた。前回の下肢で
行ったように、大谷整形外
科クリニックに来院された
患者様の症例を元に問診・
視診・触診・各種テストを
行い、理学的所見をとって
いくというケーススタディ
形式で行われた。

最初に会員の
中の1名がモデ
ルとなり施術者
役に、また別の
会員が患者役と
なり、施術者役
の会員がいつも
自分の施術所で
行っているよう



黒田邦男
(学術委員長)

に問診から始め、どのよう
に施術まで至るのかを演
その後、大谷先生が打診器
や刷毛などを使って理学的
所見を述べながら講演が行
われた。

随時会員から活発な質疑
応答がなされ、続いて股関
節や膝関節でも同様に進め
られた。
少しでも小さなサインを
見逃さないようにすること
が大切だとおっしゃられた。
大谷先生は、「常に腫瘍
がないか」ということを考
えて診察をしていると注意
喚起されている。この大谷
教室と呼ぶに値する講座は、
回を増すごとに受講者が増
え、大変人気のある講座へ
と成長している。熱のこも
った講演で終了予定時間を
超過するほどであつ

た。我々柔道整復師
の資質向上にご尽力
頂いている大谷茂院
長に謝辞を申し上げ
る次第である。

落語を披露して頂きました。

幸助・福助さんは芸界
の面白おかしい裏話から、お
互いを罵る自虐漫才、また
福助さんが幸助さんを突き
飛ばした際には舞台から落
ちてしまうというハプニン
グまで迫力満点でした。舞
台後のお二人によると、「万
が一ケガをしても柔道整復
師の会員の先生方がおられ
るので、安心して舞台を楽
しめた」とのことでした。

続いて太神楽曲芸師の豊
来家玉之助さんは傘回し・
ダルマ回しからの躍動感あ
ふれる獅子舞と、純和風な
曲芸で会場全体を魅了しま
した。

ゲスト参加の須藤為五郎
さんは、机をバンバンツと
叩き「名物・バナナのタタ
キ売り」を演じられました。
それは、新聞を丸めて作っ
たような簡単な棒でしたが、
空港で凶器と間違われたと
いうのも納得、存在感抜群で
した。大きな体でその棒を振
りかざし、大声でバナナを売
る様はタタキ売りが盛んで
あつたといわれる明治時代

後期を感じさせ
るような芸で、
10本前後の連な
るバナナに向か
って「五百円!」
「千円!」と来
場者が声を張る
中、二千五百円
で競り落とす老
人もいれば、「タ
ダ!」と言われ無料で貰う
八歳の女の子もいて、大盛
り上がりでした。

バナナの叩き売りで集まっ
た一万一千百円という売上
金は、全て社団法人大阪府
柔道整復師会を通じ財団法
人関西盲導犬協会に寄付さ
れるということでした。
なんといつても大トリを
務める五代目桂文枝門下の
桂文福さんは、さすがの安
心感ある漫談で各地でのふ
れあいエピソードをはじめ、
ほのぼのとした楽しい空間
をつくって頂きました。洞
察力、相手へ伝える言葉の
選び方、そして何より来場
者を思う心の温かさ、どれ
をとっても卓越した技術で
全員の心を鷲掴みにしまし

ました。名残惜しく
も舞台は終演に
近づき、出演者
全員での健康講
座から桂文福さ
んの一本締めで
幕を閉じました。
今回天満城東ブ
ロックのコンセ
プトは皆さんに
声を出して笑って日頃の疲
れ・ストレスを発散しても
らい、「笑い」を「健康」に
繋げる場をプレゼントする
ことでした。
目が活き活きとして心を
躍らせ、幸せそうに会場を
あとにする方がたの笑顔
を見ていると、皆がこの笑顔
で生活できるよう、私たち
が日々勉強に励み、レベル
の高い柔道整復術を提供す
ることこそが、これからの
私たちに課せられた使命な
のではないかと感じました。
そう思うと、原点を見つめ
直し帯を締めなおす意識
本場のプレゼントを頂いた
のは私たちなのかも知れま
せん。
(広報委員 正田幸一郎)

堺ブロック

第4回堺柔道整復師少年少女柔道大会



平成21年11月29日(日)
堺市原池公園体育館におい
て、「第4回堺柔道整復師少
年少女柔道大会」が開催さ
れました。442名に上る
少年少女の柔道選
手の参加があり、
今大会は前年と違
い、大アリーナと
いう広い体育館を
使用し、ギャラリ
ーにもスペースが
あり、余裕をもつ
た状態で行うこと
が出来ました。開
会宣言、大会会長
挨拶に続き、府議
会議員、市会議員、
本会理事、前衆議院議員の
岡下信子先生からそれぞれ
ご祝辞を賜りました。
学年ごとに試合が開始さ
れ、トーナメントが進むに
つれ、白熱した試合が繰り
広げられました。途中、竹
山修身堺市長がご来場にな
り、改めてご祝辞を賜りま
した。

天満城東ブロック

柔道には「礼に始まり礼に終わる」という言葉がありますように、第1回大会に比べ、回を追うごとに選手、並びに父兄の意識も向上して参りました。此の度は「少年少女の健全なる育成並びに地域活動への貢献」という大会の趣旨に恥じない大会であつたように思います。何度も打ち合わせに集まった先生方、また前日の準備や当日の大会に携わられた役員の方々の、それぞれの力が合わさった素晴らしい柔道大会になりました。

大会委員長であり
事務方としてもご尽力頂いた東尾公弘会員(堺プロック)より「永く受け継がれる大会となりますように。」というご発言がありましたように、皆で協力し、これからますますこの大会を盛り上げ、発展させていく所存です。
(広報委員 音揃基)

2010年 区民健康フォーラム開催

平成22年1月17日、京阪ホテルにて天満城東ブロック区民健康フォーラムが開催されました。
笑いの効用「笑いは健康へのかけ橋」
笑いの効用「笑いは健康へのかけ橋」と題し、桂文福、桂ぼんぼ娘さん、幸助・福助さん、豊来家玉之助さん、須藤為五郎さんに出演して頂きました。
来場者は天満城東ブロック会員の整骨院へ通院されている方がたを中心に、約200名の老若男女が来場され、13時からの開演にも関わらず今か今かと胸を弾ませ、開演前から多くの入場者も目立つ中で舞台は幕を開けました。
先陣をきった桂ぼんぼ娘さんは、非常に聴き取りやすい特有の高い声でテンポも良く、一人で何役もこなすし実際その場で何名かが話しているようリアルな

広報部 information

メール配信システム稼働中

「登録したのに届かない!」という先生は事務局までお問い合わせ下さい。



お詫びと訂正

OJTA Times 165号 8ページの表題に誤りがありました。

誤: 信原病院 バイオメカニズム研究所
正: 信原病院 バイオメカニクス研究所

関係各位にご迷惑をお掛けいたしました申し訳ございません。お詫び申し上げますとともに訂正いたします。

新入会者紹介

12月

豊能/豊中・津田剛生
河南/河南・林均
計2名

1月

淀川/淀川・福井弘一
豊能/箕面・西田正行
堀江/西新藤孝典
八尾/八尾・中川卓
天王寺/東住吉・田井弘樹
計5名

訃報

淀川/淀川地区

岡田 康秀 会員

平成22年1月11日

には、薬石効なく逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。



歓待する正副会長

平成22年
新年交歓会



大阪市長御名代
大阪市健康福祉局理事
壺阪 敏幸様



大阪府知事御名代
副知事 総山 哲男様



大阪府医師会会長御名代
副会長 難波 俊司様



(社)日本柔道整復師会会長
秋原 正様



自由民主党大阪府支部連合会
会長 参議院議員 谷川 秀善様



衆議院議員
竹本 直一様



衆議院議員
西野 陽様



衆議院議員
谷畑 孝様



万歳三唱



東大阪市議会議長
富山 勝成様



参議院議員
北川 イッセイ様



(社)国民健康保険中央会理事
田中 一哉様



大阪市会議員の皆様



大阪府議会議員の皆様